



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 57 名 出席率 77.03% 前回出席率 72.60% 修正出席 60 名 確定出席率 82.19%

四つのテスト

- ㊟ 真実かどうか？
- ㊟ 好意と友情を深めるか？
- ㊟ みんなに公平か？
- ㊟ みんなのためになるかどうか？

会長報告

川村徳男君

1. いわき平R.C.の加藤武久パスト・ガバナーが1月22日死去され、2月8日葬儀という通知が入っております。加藤さんは私が鶴岡R.C.に入った当時のガバナーで、庄内分区のI・G・Fで初めてお目にかかったのですが、大へん立派な方という強い印象が残っております。早速弔電を送りましたが、心から哀悼の意を捧げます。

2.(1) ロータリー関係の行事

9日(土)は、I・C・Mが原町で行なわれ、次期会長、幹事が出席することになっております。

(2) 一般の行事

2月7日は北方領土の日です。当クラブから市に贈った行事案内板にも、北方領土の返る日が平和の日というようなことが一年中掲示されていますが、ソ連を相手では容易でないことだと思えます。

8日は針供養、11日は建国記念日です。

幹事報告

迎田 稔君

○会報回覧

鹿児島R.C.、遊佐R.C.

○新会員推薦

斎藤庄治君 鶴岡信用金庫専務理事

○後期会費納入について

後期会費納入下さるよう御願ひ致します。

委員会報告

青少年委員会

藤川享胤君

○子供会育成担当研修会の御案内

期日 2月24日(日) P.M. 1:30~4:30

場所 福祉センター

青少年委員会、工藤弘道君代表出席

会員の方多数出席願ひます。

○ライラ第6回研修会御案内

期日 4月12.13.14日 2泊3日

場所 山形県天童市青年の家

テーマ 「生きる」

講師 教育評論家 安達清先生

元松竹監督・ラジオキャスター

岩城其美夫先生

各学業所、各会社の若い人の出席を是非御願ひ

致します。どうしても出席者のない場合は

ローターアクトクラブ会員の中から選抜のか

たちでおくりたい。

経費はロータリー負担。

◎教育110番の経過報告

9月20日から毎月1回開催してまいりました。其の間各方面から絶賛をいただきました。マスコミの

庄内空港の建設を推進しましょう

関係の皆さんからのご協力を得ましたことを感謝申し上げます。

1. 経 費

本事業にかかる経費はすべてロータリークラブの負担である。主な経費は次の通りである。

○電話設置費用（受信専用電話2台）全使用料

○相談室使用料

○カウンセラー昼食代、駐車場使用料

総予算 480,000 円、現在まで支出 285,970 円であります。

- ・この他に、電々公社から留守番電話の寄贈を受けた他、毎月のテープサービスを受けている。
- ・毎月相談日の前日及び当日、NHKの6:30に協力を得て、テレビ及びラジオ放送によるPRを行っている。
- ・外部から招聘しているカウンセラー諸先生はすべて無料、ボランティアとしてご協力をいただいている。

2. 相談件数及び内容の概要

- ・当初相談エリアを庄内地方全域とし、各地区ロータリークラブに協力を要請したが、庄内以外（山形・米沢・新庄等）からの相談もある。又当日以外の電話は24-2239（随時）受信している。

(1)	9月受信	6件	(3件)	計	9件
	10月受信	3件	(3件)	計	6件
	11月受信	5件	(5件)	計	10件
	12月受信	1件	(2件)	計	3件
	1月受信	3件	(2件)	計	5件

- (2) 留守番電話の受信状況は、1月21日受付開始までの間、開始以来126回となり、月平均約30回となっている。その内緊急の相談が24-2239にかかってくる。

(3) 相談の概況

- ・23-9110の相談件数は18件
鶴岡市 7件 酒田市 4件
新庄市 2件 山形市 1件
藤島町 1件 その他 3件 である。
- ・24-2239には、相談後、当方の指示に対する

返礼、再相談の上、訪ねてくる場合もある。

- ・相談電話の範囲は上記の他、米沢市、温海町余目町、三川町等からもある。

(4) 相談の内容

1. 36才離婚母

中1・中2女子 非行・家庭教育

2. 30才母 小1女子 家庭教育

3. 40才母 中3女子 問題行動・家庭教育

4. 60才祖母 小2男子 問題行動・隣人関係

5. 40才母 中3女子 進路・友人関係

6. 37才母 中3男子 進路・家庭教育

7. 36才母 No.1の相談に対する返礼

8. ? 母 高2 問題行動・怠学

9. ? 主婦 高2 隣人関係

10. 37才離婚母 中1女子 問題行動・友人関係

11. 39才母 小6女子・小3女子
塾・家庭教育

12. 45才母 小6女子 隣人関係

13. 42才母 小6女子 友人関係・家庭教育

14. 53才母 20才男子 交友関係

15. ? 母 小5女子 学校教育・家庭教育

16. ? 母 5才女子 家庭教育・しつけ

17. ? 母 小1女子 塾・家庭教育

18. 42才母 問題行動・学校教育

- ・24-2239には深刻なものが数例ある。

1. 16才の高校生自身から、異性交友で妊娠した。

2. 16才の中卒事務員自分で、妊娠後の処置について。

3. 20才の会社員、流産後気がとがめるので。

4. 高1女子、家出、心霊現象に凝っている母親から。

5. 電話をかけてきて、泣いている様子、話しかけても答えない。

3. 今後の問題点

- 電話という手段による為、相談区域が県下全域に及ぶ。例えば山形からの相談で、異性交友の結果妊娠、どこに相談に行ったらいいかという事に対応する体制を考えなければならない。

- 広報手段に対する対応、市広報への常時紹介。
- 常時設置・撤去をどう考えるか。

クラブ資料委員会

三井賢二君

理事会の承認の下にクラブ資料保存期間を次のとおり決めました。

クラブ資料保存期間

保存期間	資 料 区 分
永年	クラブの創設、存続に係るもの 設立認証状 定款・細則及びこれらの改正の経過 会員の入会・退会の手続書類、出欠の記録など 理事会の会議録
永年	R.I.・地区・地域その他の表彰状、感謝状など
永年	年次活動記録 会報・活動計画書・活動報告書・予算書 決算書・十周年記念誌・二十周年記念誌などの記念誌
永年	姉妹（兄弟）クラブの盟約・統盟の調印書・声明書
永年	地区・分区のホスト活動に係るもの 地区年次大会の記録誌 地区協議会の記録誌 分区I・G・Fの記録誌
20年	後日の参考となる活動関係書類 年次式典の基本計画・実施計画・案内状等 地区大会 〃 地区協議会 〃 I・C・M 〃 分区I・G・F 〃 I・A・C、R・A・Cの地区大会への協力 援助関係書類 教育電話相談の開設・運営の基本計画等 の関係書類

7年	前記の各項に該当しないもの 受贈物件 改訂になったライブラリー 教育電話相談の受信記録 会計帳簿・領収証・伝票類 その他
----	---

〔備考〕

上記により難しいものがあるとき、及び改正については、理事会が定める。

親睦活動委員会

小池繁治君

○ロータリークラブ麻雀大会

日 時 3月2日(土) 午後1時
場 所 昭和通り 雀京

方 法 午後1時30分スタート
半チャン(50分)4回戦

最終4回目は3回戦までの順位別組合せ

会 費 3,000円

表彰及び懇親会は終了次第京寿して行ないます。

○会員誕生

早坂徳治君・斎藤 昭君
笹原桂一君・手塚 拓君
染野 檀君・内山喜一君

○奥様誕生

福島宣子様
匹田フクミ様
佐藤鷹子(友吉)様

出席委員会

○年間皆出席

24年間皆出席 鈴木善作君
16 〃 三井 健君
12 〃 佐藤友吉君
12 〃 吉野 勲君
8 〃 菅原辰吉君

2年間皆出席 渡部利夫君



○ 1月 100%出席 55名

阿蘇・張・藤川・布施・飯白・石川・石黒・板垣(俊)・市川・川村・黒谷・小池・小松(広)・今村・小松(三)・工藤・加藤・忠鉢・三井(賢)・三井(健)・嶺岸・迎田・松田(貞)・松田(士)・中江・中野・四田・中田・斎藤(隆)・佐藤(忠)・佐藤(順)・佐藤(衛)・佐藤(友)・佐藤(元)・新穂・菅原・鈴木(善)・鈴木(弥)・佐藤(陸)・佐藤(英)・鈴木(茂)・佐々木・斎藤(昭)・白坂・丹下・津田・手塚(林)・富樫・内山・渡部・若生・山口・吉野・山川・皆川

スマイル

菅原辰吉君 鶴岡体協表彰式の折、写真に載ったので。

市川輝雄君 初孫誕生。

塚原初男君 捻挫が快復したので。

ビジター

川崎R.C. 保坂民男君

鶴岡西R.C. 阿部光男君・菅原幸雄君

鈴木昭吾君・長野正彦君

八幡慶二君

ロータリー用語便覧(15)



ロータリー財団 国際ロータリーの事業計画の一つ。

このプログラムは、国際理解と親善をはかるために、現実性のある実際的な方法で実施され、広範囲にわたって効果をあげているが、その対象

を個人にしているのが特色である。自国以外の国で勉強するのにふさわしく、しかも生まれつき才能のある青年男女に教育補助金、研究グループ交換補助金および特別補助金を支給するのが、その内容となっていて、費用はロータリー財団によって賄われる。ただし、ロータリアンとその家族や扶養家族には補助金を受ける資格はない。

ロータリー財団 財団の奨学制度は、創設以来、大奨学生制度

学卒業生に対する大学院課程奨学金のみであったが、数年前から、大学在学学生に対する奨学金と専門的訓練補助金制度の二つが加えられた。大学院課程の奨学金を“Rotary Foundation Fellowship”とよび、学士課程のそれを“Rotary Foundation Scholarship”とよんで両者を区別している。このほか1973～74学年度より実施されているものに教師奨学金制度がある。これは障身心害者教育に従事している教師に対するもので、申請時において既に2カ年以上の経験を有することが条件となっている。さらにジャーナリズム(新聞関係)奨学金も新設されている。

ロータリー財団 ロータリアンまたはそれ以外の人への遺贈と寄付 の遺言によってロータリー財団に寄贈された財産。この財産の用途は、条件付・無条件といろいろあるが、すべて財団管理委員会が受取り、保管することになっている。

財団への〈寄附〉はあくまで自発的なものでなければならない。したがって、寄付を条件に入会を認めるような細則をつくったり、寄付を強制したりすることは厳しく禁止されている。

(今週の担当者 斎藤 昭)